

# 日本鐵鋼協會 日本金屬學會 聯合講演大會御案内

昭和 26 年 2 月 日

日本鐵鋼協會々長 田 中 清 治

日本鐵鋼協會と日本金屬學會の兩會は來る 4 月 1 日 (日), 2 日 (月) の兩日合同で講演大會を開催いたします。今回の催しも會員各位の便宜を圖り, お申込みの講演は兩會で協定をいたし大體 1, 製鐵製鋼 (燃料・耐火物を含む), 2, 鋼の加工熱處理及性質, 3, 鑄鐵鑄鋼に關するものは日本鐵鋼協會の擔當, 4, 金屬物理 (試験法を含む), 5, 金屬化學 (分析法を含む), 6, 金屬材料に關するものは日本金屬學會の擔當とし, 互に緊密な協力の下に金屬の理論的及び實地的研究の進歩と我國産業の再建に力強く貢獻したいと存じます。

各位の御參加を切に希望いたします。

申 込 締 切 期 日

3 月 20 日

大會出席費	一人につき金 200 圓 (講演大要代を含む) * 従來表彰者と講演者の方は出席費をいたしませんでしたが今回からは戴くことになりましたから不悪お拂込み下さい
講演會場	日本鐵鋼協會 文京區本富士町東京大學第一工學部第二號館 第一會場 第二會場 第三會場 第四會場 第五會場 第 21 號教室 第 22 號教室 第 25 號教室 第 26 號教室 第 24 號教室 日本金屬學會 文京區本富士町東京大學第一工學部第一號館 第六會場 第七會場 第八會場 第九會場 第十會場 第十一會場 第 2 號館大講堂 中講堂 1 階 2 階 2 階 3 階
大會期日	4 月 1 日 (日) 日本鐵鋼協會通常總會及協同講演大會 (第 1 日) 4 月 2 日 (月) 協同講演大會 (第 2 日) 4 月 3 日 (火) 見 學 會

## 大 會 開 催 要 領

1. 申 込 別紙申込書 (69 頁にあり) に記入事項を御記入の上出席費金 200 圓を現金又は小爲替 (振替は東京 193 番) へ御送金下さい。協會は受付と同時に受領證の代りに印刷物引換券及び見學工場票をお送りいたします。
2. 集 合 出席會員は必ず本會制定の會員章 (まだお持ちにならない方は當日受付でお求め下さい 1 個金 50 圓です工場見學のときはどうしても必要です) を御佩用の上 4 月 1 日午前 8 時 45 分迄に第一會場受付へ御參集下さい。
3. 晝 食 會期 3 日間を通じお食事の準備はいたし兼ねますから御銘々お辨當を御用意下さい。
4. 見學及乗物代 3 日の見學箇所は下記 14 班の内其の 1 をお選び下さい。尤も御希望に依り見學申込票に希望順序をお付け下されば當方で出来るだけ御便宜をお計りいたします。旅費は全て御自辨のこと。(切符も御銘々お買求め下さい)。

## 5. 見學班別 (4月3日)

班別	豫定人員	集合時刻	見學場所	所 在
I	100	9.30~12.00	朝日新聞社	千代田區有樂町
		14.00~15.00	(第1部 50名)	日本放送協會
		15.00~16.00	(第2部 50名)	
II	50	9.30~11.30	日本コロムビアK. K.	川崎市港町 125
		13.00~15.00	富士製鐵K. K. 川崎製鋼所	川崎市大師河原 2244
III	50	9.30~11.30	日本コロムビアK. K.	川崎市港町 125
IV	40	9.30~11.30	東京工業試験所	澁谷區幡ヶ谷本町1丁目
		13.00~15.00	太平鑛業K. K. 研究所	大宮市北袋 16
V	100	9.30~11.30	いすゞ自動車K. K. 川崎製造所	川崎市大師河原下殿町 5981
		13.00~15.00	日本鋼管K. K. 鶴見製鐵所	横濱市鶴見區末廣町2の1
VI	50	9.30~11.30	日産自動車K. K. 横濱工場	横濱市神奈川區寶町 2
		13.00~15.00	新日本鑄造K. K.	川崎市白石町
VII	100	9.30~11.30	工業技術廳機械試験所	杉並區住吉町 132
		13.00~15.00	全上自動車部	北多摩郡東村山町園田
VIII	100	9.30~11.30	燃料研究所	川口市省線驛前
		13.00~15.00	日本特殊鋼管K. K.	板橋區舟渡3丁目 2848
IX	50	10.00~16.00	日本鋼管K. K. 川崎製鐵所	川崎市南渡田
X	50	10.00~12.00	昭和電工K. K. 川崎工場	川崎市扇町 28
		13.00~15.00	東京製綱K. K. 川崎工場	川崎市河原町 1
XI	100	9.30~11.30	東都製鋼K. K. 本社製鋼所	江東區南砂町5丁目 1985
		13.00~15.00	高砂鐵工K. K. 大島工場	江東區大島町3丁目 341
XII	100	10.00~16.00	浦賀造船K. K. 浦賀造船所	横須賀市谷戸 6
XIII	100	9.30~11.30	K. K. 日立製作所龜有工場	足立區大谷田町 927
XIV	100	9.30~11.30	東日本重工業K. K. 横濱造船所	横濱市西區綠町3の4
		13.00~15.00	K. K. 東急横濱製作所	横濱市金澤區釜利谷町 1

6. 出席申込及びその締切 本大會出席申込は本切取紙(69頁にあり)又は同形大の紙片に所要事項を記入又は不要文字を抹消し(見學班は希望の班に○印を附し)出席費金200圓(4月2日夕刻の有志晚餐會に出席御希望の方は同時に別に500圓を前納のこと)を添へ來る3月20日の締切期日迄に本會へ到着するよう御發送を願います。

【備考】出席費(晚餐會費)は整理上不得止ものゝ外は全て3月20日迄にお拂込みを願います又一旦お申込みの上は御都合で御缺席になつても會費は頂戴いたします。

7. 講演大會 4月1日(日), 2日(月)。

備考(1) 會場は11あります。その内第1から第5迄が鐵鋼協會, 第6から第11までが金屬學會擔當で幻燈の伴ふ講演は全て第6會場に纏めてあります。

(2) 全會場を通じ講演番號にT字を冠したるものは本會へお申込みの講演でK字を附したるは金屬學會へお申込みのものです。

(3) ○印は講演者です。

## 講演プログラム

K印金屬學會  
T印鐵鋼協會

○印講演者

## 第1會場 (講演第1日) 4月1日 (日)

時間	講演番號	講演題目	講演者 (敬稱略)
9:00~9:10		開會の辭	
9:10~9:25	K 1	Mnを含む溶鐵中のO及びSと氣相との平衡について	堀川 映二
9:30~9:45	K 2	製鋼の基礎的反應に関する統計熱力學的研究 (第12報) Pcoの高 壓下に於ける溶鐵中の炭素と酸素との關係及び酸素の活動度に対す る炭素の影響について	竹内 榮
9:50~10:05	K 3	製鋼の基礎的反應に関する統計熱力學的研究 (第13報) 多元系溶 融鐵合金と氣相との平衡	竹内 榮 小黑 仁
10分間 休憩			
10:20~10:35	T 1	製鋼反應の速度論的研究 (第3報) 脱炭反 北海道大學理學部教授 應に於ける水蒸氣の接觸作用 同 金屬化學研究室 同理學部無機化學教室	理博 丹羽貴知藏 理○勝藤 昌伸 理 安味 貞昭
10:40~10:55	T 2	製鋼反應の速度論的研究 (第1報) CaO- SiO <sub>2</sub> -FeO系熔融鋼滓の酸素吸收速度測定 八幡製鐵所技術研究所	理 田尻 惟一
11:00~11:15	T 3	熔鐵中の珪素溶滓及び H <sub>2</sub> /H <sub>2</sub> O 間 の平衡について (Ⅲ) (SiO <sub>2</sub> ) CaO- Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> +2H <sub>2</sub> ⇌[Si]+2H <sub>2</sub> O 反應の 東北大學教授選鑛製鍊研究所 測定 同 助教同	工博 三本木貢治 工○大谷 正康
11:20~12:00		通常總會	
晝食 休憩			
13:00~13:15	T 4	CaO-SiO <sub>2</sub> -FeO系 CaO-SiO <sub>2</sub> -Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 系溶 東京大學助教 融スラッグ構成成分の活量計算	工 松下 幸雄
13:20~13:35	T 5	CaO-SiO <sub>2</sub> 系溶融スラッグの電氣化學的 東京大學助手第二工學部 考察 同 助教	工○森 一美 工 松下 幸雄
13:40~13:55	T 6	MnO-SiO <sub>2</sub> 系溶融スラッグの電氣化學 東京大學大学院特別研究生 的考察一構成成分 (特に高 MnO 組成) 同 第二工學部冶金科學生 の活量計算法 同 助教	工○坂上 六郎 吉永 博一 工 松下 幸雄
14:00~14:15	T 7	MnO-SiO <sub>2</sub> 系溶融スラッグの電氣化學 東京大學大学院特別研究生 的考察一解析の結果及び三元系への擴 同 第二工學部冶金科學生 張 同 助教	工○坂上 六郎 吉永 博一 工 松下 幸雄
10分間 休憩			
14:30~14:45	T 8	FeO-SiO <sub>2</sub> 系 FeO-MnO-SiO <sub>2</sub> 系溶融ス 東京大學助手第二工學部 ラッグの電氣傳導度 同 第二工學部冶金科學生 同 助教	工○森 一美 川井 昂 工 松下 幸雄
14:50~15:05	T 9	製鋼過程に於ける 2, 3 の問題に就て 日本ニッケルK.K.	工 小池 與作
15:10~15:25	T 10	電氣爐熔解法の理論的検討 (第2報) 大阪特殊製鋼K.K.	工 荒木 透
15:30~15:45	T 11	高珪素クロム鐵に於ける炭素の 日本鋼管K.K. 富山電氣製鐵所 舉動に就て 同	工博○鹽谷 周三 清水 定雄
10分間 休憩			
16:00~16:15	T 12	大型重油平爐改造後の操業について 八幡製鐵所 同	○阿部 重藏 工 相原滿壽美
16:20~16:35	T 13	平爐火入れ時の合理的加熱法の研究 八幡製鐵所技術研究所 同	工○瀬川 清 諸石 勝
16:40~16:55	T 14	鋼滓鹽基度の迅速判定法 (第2報) 日立製作所安來工場	工 新持喜一郎
17:00~17:15	T 15	鹽基性鋼滓に関する一考察 新扶桑金屬鋼管製造所	理 下川 義雄
第1會場 (第2日) 4月2日 (月)			
9:00~9:15	T 16	大型鋼塊の鑄型の改造 富士製鐵K.K. 輪西製鐵所 日本製鋼所室蘭製作所研究部	峰 吉丸 理博 前川 靜彌 ○中川 義隆
9:20~9:35	T 17	造塊作業の研究 (第1報) 造塊作業 日本製鋼所室蘭製作所研究部 の一般的傾向	○小松 文彦 曾我 政雄
9:40~9:55	T 18	造塊作業の研究 (第2報) 造塊作業 日本製鋼所室蘭製作所研究部 と鋼塊に生ずる各種缺陷	理博 前川 靜彌 理○中川 義隆 ○小松 文彦 曾我 政雄

10:00~10:15	T	19	爐壁の温度傳導度を實測する一方法 10分間休憩	山梨大學工學部	工	中村 元和
10:30~10:45	T	20	耐火材が造塊時に受ける荷 重に就て	日本鋼管K.K.川崎製鐵所技術研究所	工	佐々木茂之
10:50~11:05	T	21	リムド鋼塊に於ける瓦斯發生機構について	八幡製鐵所製鋼部	工	石原 重利
11:10~11:25	K	4	凝固時に於ける熔鋼のガス放出能に關する基礎的考察		理	下川 義雄 ○田上 豊助
11:30~12:00	T	22	我國の製鋼用鑄型の現況に 就て	日本鐵鋼協會研究部會鑄物部會委員長	工	菊池 浩介
			晝食休憩			
13:00~13:15	T	23	酸性平爐操業と非金屬介在物との關 係に就て	日本製鋼所室蘭製作所研究部		石塚 寛
13:20~13:35	T	24	肌焼鋼に生ずる砂疵の性状に就て	神戸製鋼所	工	井上 正義 工 宮下 幸好 工○西原 守年 伊勢 長年
13:40~13:55	T	25	軟鋼材の素鍛鍊に依る或種の疵發生に關す る研究	山陽製鋼株式會社		益田 義三
14:00~14:15	T	26	ダイヤモンド孔型に於ける2, 3の問題について	不二越鋼材工業K.K.東富山製鋼所		吉田 亮英
			10分間休憩			
14:30~14:45	T	27	外輪の壓延加工に關する研究 (第1報)	新扶桑金屬工業K.K.製鋼所	工○	田坂 鋼二 辻本 信一
14:50~15:05	T	28	穿孔加工に就て(第2報)杵の形 果に就て	長崎製鋼K.K.長崎製鋼所	工博	河合 正吉
15:10~15:25	T	29	据込鍛鍊の効果について	長崎製鋼K.K.長崎製鋼所	工博	河合 正吉 ○横山 隆吉 木月 清彦
15:30~15:45	T	30	絞リロール壓延による管の 肉厚變化について	日本鋼管K.K.川崎製鐵所技術研究所	理	鈴木 鋼一
			10分間休憩			
16:00~16:15	T	31	傾斜壓延に關する研究(第5報)	新扶桑金屬工業鋼管製造所	工博○	池島 俊雄 岡本 豊彦
16:20~16:35	T	32	クランクプレス式押出製管機の押出壓 力に就て	新扶桑金屬工業鋼管製造所	理	三好 榮次 工○小島 浩
16:40~16:55	T	33	ロールプロフィールメーターに就て	小坂研究所 日本鋼管K.K.鶴見製鐵所	工博	小坂誠市郎 工○矢澤彌三郎
17:00~17:15	T	34	鋼材加熱爐改造による熱能率の向上と改造 前後の比較	八幡製鐵所管理部 同 鋼材部 同 管理部	工	設樂 正雄 工 永江 賢吉 ○中町 勝吉
17:20~17:35	T	35	鋼中水素の逸出に關する2,3の實 驗	日本製鋼所室蘭製作所研究部	工博	下田 秀夫 ○小野寺 眞作 山形 孝藏

### 第2會場 (第1日) 4月1日(日)

9:00~9:10			開會の辭(第1會場)			
9:10~9:25	K	5	鐵銹の發生機構とその防止(續報)			多賀谷正義 ○伊佐 重輝
9:30~9:45	T	36	電池作用による鐵のサビ止めの原理	日本大學教授	工博	山本 洋一
9:50~10:05	K	6	不銹鋼の高温酸化皮膜に關する研究			○中山 忠行 關口 和彦
			10分間休憩			
10:20~10:35	T	37	高クロム不銹鋼の耐酸性に及ぼすニッケル 添加の影響	大阪大學教授 山口大學	工博	多賀谷正義 ○神谷 精吾
10:40~10:55	T	38	クロマイジングの特性に關する研究	早稻田大學第一工學部	工	上田 重朋
11:00~11:15	T	39	耐蝕性被覆の研究(第1報)珪素の擴散	保土谷化學研究所 同	工	小林 一典 工○石野 享
11:20~12:00			通常總會(第1會場)			
			晝食休憩			
13:00~13:15	T	40	錫又は亜鉛鍍銀の鍍量迅速分析法に就 いて	高砂鐵工K.K.技術研究部 同		上田 治作 ○稻垣 祐

13:20~13:35	K	7	陽極溶解によるメッキ厚さ測定法		小川 芳樹 久松 敬弘 菅野 昌義
13:40~13:55	T	41	亜鉛鍍金鋼の不良調査に就いて	大同鋼板K.K. 尼崎工場	技術部長 名古屋 銈次 検査課長 飯田 長年 検査係長 中井 秀雄 検査係員 松永 雅雄 足立 彰
14:00~14:15	T	42	鋼の腐蝕速度に及ぼす途中秤量の影響 (第2報) Cr 鋼の場合	新扶桑金屬工業鋼管製造所 大阪大學助教授	理 竹原 勝治 大橋 俊
10 分 間 休 憩					
14:30~14:40	K	8	鐵鋼と熔融亜鉛との反應について (第2報) 鐵鋼中の炭素量の影響に関する研究		西村 秀雄 寺前 章 貝淵 榮四
14:45~15:00	T	43	熱起電力による鋼塊及鋼材の偏析判定法 (第2報)	大阪大學教授 大阪大學工學部	工博 藤井 寬 工 北井 一郎 荒木 逸夫 水野 知巳 三好 敏 大藤 能親
15:05~15:20	K	9	溶液法による鐵鋼の定量分光分析について		
15:25~15:35	K	10	定量分光分析に於ける線對の研究		
10 分 間 休 憩					
15:50~16:00	K	11	定量分光分析に於ける共存元素の影響について		大藤 能親
16:05~16:20	K	12	溶液法による分光分析法の研究 粒狀黑鉛鑄鐵中の Mg 及び鐵鋼中の B の定量		後藤 秀弘 大槻 孝
16:25~16:40	K	13	銅の定量に関する研究 (第6報) 内部電解法による共存する銅及びアンチモン錫の示差的定量		故 石丸 三郎 鈴木 正巳 後藤 秀弘 柿田 八千代 鈴木 節子
16:45~16:55	K	14	セレン及びテルルの定量分析法の研究 (第3報)		太田 一男
17:00~17:10	K	15	水銀陰極電解法による亜鉛基ダイキャスト合金中の Al 及び Mg の迅速定量法		田中 親房
17:15~17:25	K	16	Ca の定量法		

第2會場 (第2日) 4月2日 (月)

9:00~9:15	K	17	ゼラチン添加による Fe-Si 中の Si の定量について		○桐山 靜男 西田 重利
9:20~9:35	K	18	Fe-Si-Mn 中の P 定量法について		○桐山 靜男 西田 重利
9:40~9:55	T	44	學振法水素分析に於ける抽出温度と共存元素の影響	東北大學教授 同 助教授 工學部	工博 的場 幸雄 工 不被 祐 佐藤 昭喜
10:00~10:15	T	45	真空切削に依る金屬材料中のガスの研究 (第1報) 真空切削装置に就いて	新扶桑金屬工業K.K. 製鋼所	理 藤井 毅彦
10 分 間 休 憩					
10:30~10:45	T	46	鐵鋼中ガス分析装置について	東京大學第一工學部 同	○芥川 武 佐川 龍平
10:50~11:05	T	47	真空熔融法による鋼中の瓦斯成分の定量に関する研究 (第4報) 熔鋼中の水素の迅速定量と真空熔融法の現場爐中分析への應用に就いて	日本特殊鋼K.K. 技師	澤 繁樹
11:10~11:25	K	19	銑鑄鐵中の非金属介在物について (その1) 主として窒素成分の測定		北川 公登 ○米田 公登
11:30~11:45	K	20	銑鑄鐵中の非金属介在物について (その2) 主として銑鐵中の酸素成分の測定		北川 公登 米田 則夫 ○柴田 則夫
11:50~12:05	T	48	鑄鐵中の酸化物定量について	九州大學工學部教授 同 助教授 同 助手	工博 谷村 熙 ○松田 公扶 谷口 希一
晝 食 休 憩					
13:00~13:15	T	49	石炭及びコークスの全硫黄迅速定量法に就いて	日本鋼管K.K. 川崎製鐵所技術研究所 同 検査部 同	高野 重德 佐藤 武彦 工 宮津 隆

13:20~13:35	T	50	鐵鋼中に含有せる微量炭素の定量法について	名古屋大學工學部教授 同 大學院特別研究生	理博 佐野 幸吉 工○村瀬 照明
13:40~13:55	K	21	鐵鋼中に於ける炭素の定量分光分析法について		松原 隆 ○飯島 弘
14:00~14:15	T	51	遠心比重計による鐵鋼中の珪素の迅速分析	東京大學生産技術研究所 同	工○武藤 義一 永塚 澄子
10 分 間 休 憩					
14:30~14:45	T	52	鐵鋼中 Mn 迅速分析法に就いて (第2報) 鐵鋼中 Mn 迅速分析に過硫酸アンモン—硫酸バナジル法の應用に關する検討	新扶桑金屬工業鋼管製造所 同	理博 細田 薫 ○小野 益男
14:50~15:05	K	22	誘發酸化法による鐵鋼中マンガンの迅速定量に就いて		平野 四藏 ○吉森 孝良
15:10~15:25	T	53	鐵及鋼中のマンガン定量法の亜硫酸—亞硝酸ソーダ滴定に就いて (第2報)	日本鋼管K.K.川崎製鐵所技術研究所	理 橋本勇二郎
15:30~15:45	T	54	遠心分離機による珪素の迅速分析法	富士製鐵K.K.輪西製鐵所 同	理 池野 輝夫 ○森本 武生
10 分 間 休 憩					
16:00~16:15	K	23	鐵鋼中のクロム新迅速分析法について (AgNO <sub>3</sub> -KMnO <sub>4</sub> -NaCl 法について)		○桐山 靜男 川村 弘一
16:20~16:35	T	55	青化カリ法に依る鐵鋼中の銅迅速定量法	日本製鋼所室蘭製作所研究部 同	○菊地 安藏 志茂 正勝
16:40~16:55	K	24	ポーラログラフ法による鐵鋼特殊鋼中のCu迅速分析法の研究ポーラログラフによる金屬分析法の研究 (第2報)		米崎 茂
17:00~17:15	K	25	光電比色計に依る鐵鋼の迅速分析法 (第2報)		後藤 秀弘 ○渡邊 四郎

### 第3會場 (第1日) 4月1日 (日)

9:00~9:10	開 會 の 辭				
9:10~9:25	T	56	鋼の土壤に對する磨耗の研究	工業技術廳機械試験所	三橋鐵太郎 ○今井 裕 横井 信
9:30~9:45	K	26	高炭素低クロム鋼高炭素高クロム鋼及び高速度鋼に現はれる残留オーステナイトの性質について		○下田 秀夫 山形 幸藏 石塚 寛
9:50~10:05	K	27	熱間加工用工具鋼の研究 (IV) 残留大洲田の二次 Ar <sup>II</sup> 並にその恒温分解の様相について		武田 修三 ○深瀬 幸重
10 分 間 休 憩					
10:20~10:35	K	28	工具鋼の強度に關する研究		篠原 亥六
10:40~10:55	T	57	高速度工具に關する研究 (第13報)	岡野バルブ製造K.K.門司工場	工博 堀田 秀次
11:00~11:15	T	58	高V速度鋼に關する研究	日本製鋼所室蘭製作所研究部 同 機械工場	工博 下田 秀夫 ○石塚 寛 中谷 清二 武内貞四郎
11:20~12:00	通 常 總 會				
晝 食 休 憩					
13:00~13:15	T	59	高壓筒材料の研究 (第2報) クロ—ド合成筒觸媒管用材料に就て	日本製鋼所室蘭製作所製鋼部	齋藤 利生
13:20~13:35	T	60	電熱線熔射に依る鐵鋼の高温酸化防止について	東京大學工學部	相山 正孝
13:40~13:55	T	61	W-Cr-V 系高合金鋼の恒温の變態並に焼入變態に就て	神戸製鋼所本社研究部 同	理 高橋 孝吉 ○裏川 康一
14:00~14:15	T	62	超耐熱合金 Metal-Ceramics に關する研究 (第1報) Fe 及 Ni に及ぼす Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 含量の影響に就て	關西大學教授	工博 太田 雞一
10 分 間 休 憩					
14:30~14:45	T	63	過熱蒸氣用弁の辨辨座の燒着に關する一實驗	川南工業K.K.香燒島造船所	足立 次郎
14:50~15:05	T	64	Cr-Ni オーステナイト系耐熱鋼の溶接部に於ける機械的性質	日立製作所日立研究所 同	工博 小野 健二 工○小川 浩三

15・10~15・25	T	65	耐熱鋼の加熱による性質の變化について (續報)	大阪大學教授 同 工學部	工博 多賀谷正義 工○伊佐重輝 工 鳥山 太郎
15・30~15・45	T	66	耐熱鋼の高温時効に關する 2, 3 の現象に ついて 10 分間 休憩	東都製鋼K.K.技術部	工 淺野榮一郎
16・00~16・15	T	67	耐熱シルクローム鋼の脆性と熱處理に就い て	神戸製鋼所	高橋 孝吉 曾根 太郎 工○西原 守生 谷藤彌壽生
16・20~16・35	T	68	ガスタービン翼用耐熱鋼の研究(耐熱 鋼の研究Ⅶ)	日本特殊鋼K.K.試験課長	工 出口喜勇爾
16・40~16・55	T	69	ガスタービン用耐熱鋼 Timken (16-25- 6) に及ぼす窒素の影響	東北大學教授 同 大學院	工博 今井勇之進 工○田野崎和夫
17・00~17・15	T	70	ガスタービン用超耐熱合金の研究 (第1報) Timken 合金の時効硬化及そ れに及ぼす成分元素の影響(その1)	名古屋大學教授 同 助教授 同 工學部	工博 武田 修三 工○永井 直記 工 花井 優

### 第3會場 (講演第2日) 4月2日(月)

9・00~ 9・15	K	29	含硼素鋼の研究(V報) 低炭素-低合金鋼に對する微量硼素添加の 影響 〔1〕 0.05~0.08% C, 0.3~0.5% Mo 鋼に對する影響		今井勇之進 ○今井彦太郎
9・20~ 9・35	T	71	鐵鋼中に於けるジルコニウム	東京大學冶金學教室 同	工博 三島 徳七 工○三橋鐵太郎
9・40~ 9・55	K	30	Cr-Ti-B鋼の研究(第1報)		佐藤 知雄 ○矢島悦次郎 村上武次郎 ○鈴木 隆志
10・00~10・15	K	31	18%Cr 鋼の諸性質に及ぼす Ti の影響 10 分間 休憩		
10・30~10・45	T	72	鐵鋼に及ぼすチタンの影響(第1報)	早大理工學部助教授	工 長谷川正義
10・50~11・05	T	73	チタン鋼の析出硬化に關する研究(第2報)	早大理工學部助教授	工 長谷川正義
11・10~11・25	T	74	鋼材加熱時に於ける硼素の舉動	日本製鋼所室蘭製作所	理 中川 義隆 ○三神 正苗 戸澤 一光
11・30~11・45	K	32	高マンガン鋼の性質に及ぼす珪素の影響		小柴 定雄 ○九重 常男
11・50~12・05	K	33	拔型材の研究(第1報) 低マンガン, クローム, タングステン鋼に 於ける各種元素の影響について 晝食 休憩		
13・00~13・15	T	75	タイヤののブレーキ・バーンに就て (第2報)	鐵道技術研究所 同 同	工博 大和久重雄 ○飯島 一昭 工 伊藤 篤 柏木 信雄
13・20~13・35	T	76	鋼の焼戻硬度と焼戻温度並びに焼戻時間と の關係について(續報) 焼入時の硬化が不 完全な場合の焼戻硬度の算出法	八幡製鐵所技術研究所	工 大竹 正 太田 傳 ○江口 直記 ○田中 實 小林 五郎 土肥 晋一 村田 良春 ○田中 重美
13・40~13・55	K	34	車軸材の硬化特性		
14・00~14・15	K	35	自動車用特殊鋼の硬化能について(第1報) As cast Specimen 10 分間 休憩		
14・30~14・45	T	77	自動車用 Cr 鋼(CR鋼)及びCr-Mo 鋼 (OM鋼)の機械的性質(含炭量との關係及 び兩鋼種の比較)	日産自動車K.K.	理 本山盛太郎
14・50~15・05	T	78	電弧熔着金屬の機械的性質に及ぼす微量 Cu の影響に就いて	神戸製鋼所研究部 同 同	工 高尾善一郎 理 荒木 逸夫 ○野田 忠夫
15・10~15・25	K	36	鋼に對する合金元素としての窒素(第9報) 鋼の青熱脆性に及ぼす 酸素及び珪素の影響 附 青熱脆性の發生原因の考察		今井勇之進 ○石崎 哲郎
15・30~15・45	T	79	低炭素鋼の焼鈍脆性に 關する研究	日本鋼管K.K.川崎製鐵所技術所研究部長	工 菊池 浩介
			10 分間 休憩		

16:00~16:15	T 80	各種中空鋼材の繰返打撃強度の比較	東京鋼材本社製作所 同	○内山 道良 關 不二雄
16:20~16:35	T 81	高周波焼入に関する基礎研究	大阪大學工學部 同	○栗山 良眞 三宅 正昭 野本 覺二
16:40~16:55	T 82	蔓巻ばねの高周波焼入について	鐵道技術研究所 高周波熱鍊K.K.	工○中村 宏 工 水馬 克久
17:00~17:15	T 83	小型炭素鋼時計ゼンマイの中心端末焼鈍法の持続時間に及ぼす影響について	理化學材料K.K.	工博 川村 宏矣
17:20~17:35	T 84	時計用ゼンマイの光輝焼入に就て	東京工業大學 同 服部時計店工場精工舎 同	理博 河上 益夫 内田 莊祐 工 窪田庄十郎 高野 四郎 工○安藤 修二

#### 第4會場 (第1日) 4月1日(日)

9:00~9:10		開會の辭		
9:10~9:25	K 37	磁硫鐵鑛利用の研究(第1報)磁硫鐵鑛の焙燒性について		今井勇之進 石原寅次郎
9:30~9:45	T 85	燒結鑛の薄片に依る組織に就いて 東北大學助教授選鑛製鍊研究所		○丸山 益輝 工 高橋 愛和
9:50~10:05	K 38	熔融鑛滓の粘性(I) CaO-SiO <sub>2</sub> -Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 系の粘性		齋藤 恒三 ○川合 保治
10分間休憩				
10:20~10:35	T 86	高爐滓の粘性に及ぼす SiO <sub>2</sub> , MgO, MnOの影響	八幡製鐵所技術研究所	松田 龜松
10:40~10:55	T 87	コークス爐操業の一考察	八幡製鐵所製銑部 同	長谷場七郎 工○中原 實
11:00~11:15	T 88	石炭の骸炭化性の簡易判定法(第1報)	八幡製鐵所技術研究所	工博 城 博 井田 四郎 ○光山 龜次
11:20~12:00		晝食休憩		
13:00~13:15	K 39	再生銑鐵の研究(第3報)		○養川 實 安川 三郎
13:20~13:35	T 89	鋼滓類のみを燐源とするトーマス銑	秋田大學教授	田畑 農夫
13:40~13:55	T 90	鐵鑛石中の硫黄の存在状態と脱硫性との關係	八幡製鐵所技術研究所	理 石光 章利
14:00~14:15	T 91	熔銑の自然脱硫に関する熱力學的考察	名古屋大學工學部教授	理博 佐野 幸吉
10分間休憩				
14:30~14:45	T 92	炭素を飽和する熔鐵のマンガンによる脱硫平衡について	名古屋大學工學部 同	理博 佐野 幸吉 工○井上 道雄
14:50~15:05	T 93	三成工場木炭熔鑛爐の吹入に際し炭素鍊瓦の築造並びに2,3の改造に依る操業について	帝國製鐵K.K.技師	保本 保
15:10~15:25	T 94	釜石製鐵所に於ける最近の製銑作業について	富士製鐵K.K.釜石製鐵所 同	佐伯 正夫 ○芹山 勇
15:30~15:45	T 95	鑄鋼の押湯に関する2,3の實驗	日本車輛製造K.K.	工 沖 進
10分間休憩				
16:00~16:15	T 96	電氣爐鑄鋼の流動性に及ぼす熔鋼中の酸素の結合状態の影響に就いて	神戸製鋼所研究部	工 高尾善一郎 理 荒木 逸夫 工○有川 正康
16:20~16:35	T 97	特殊鑄鋼の研究(第9報) Cr-Mo 及び Cr-Mn-Si 鑄鋼の機械的性質に及ぼすV, Ti, Al, Si 脱酸處理の影響	九州工業大學	工博 三ヶ島秀雄
16:40~16:55	T 98	特殊鑄鋼の研究(第10報)特殊鑄鋼の焼入焼戻性	九州工業大學	工博 三ヶ島秀雄
17:00~17:15	T 99	鑄鋼の高温龜裂に及ぼす諸元素の影響(第2報) Cuの影響	日本車輛製造K.K.	工 沖 進
17:20~17:35	T 100	鐵鋼中の銅分の除去に関する研究	京都大學教授 同 工學部	工博 西原 清廉 工○安達 秀男

#### 第4會場 (第2日) 4月2日(月)



9:00~9:15	T 101	サンドスリンガーに依る型込方式に就いて	昭和鐵工K.K.	工○赤沼 利彦 蓮尾 徳次
9:20~9:35	T 102	鑄鐵製電氣抵抗體の基礎研究	東京工業大學教授 千葉工業大學	工博 岡本 正三 工○岡川 厚正
9:40~9:55	T 103	鑄鐵の流動性の研究(第1報) 鑄鐵の流動性に及ぼす炭素及珪素の影響	京都大學工學部	工博 森田 志郎 宮岡 正助 莊司 吉之助
10:00~10:15	T 104	Fe-As-C 三元素平衡狀態圖の研究(第2報)	京都大學工學部	工博 澤村 宏 工○盛 利貞 深瀬 徹二 山本 俊二
10 分 間 休 憩				
10:30~10:45	K 40	鑄鐵の研究(第5報) 鑄鐵の凝固過程に就いて		五十嵐 勇 大平 五郎 ○堀籠 健男
10:50~11:05	K 41	酸素を含む鑄鐵の白銑化機構について		本間 正雄
11:10~11:25	K 42	熱浴焼入せる白銑の黒鉛化		吉見 良平
11:30~11:45	K 43	可鍛鑄鐵焼鈍に於ける加熱速度の影響(第2報)		石原 康正 ○吉見 良平
11:50~12:05	T 105	加熱速度による白銑鑄鐵の網狀セメンタイトの消失狀況に就いて	高砂鐵工K.K.技術研究所	上田 治作
晝 食 休 憩				
13:00~13:15	T 106	オーステナイト可鍛鑄鐵の研究(第2報)	早稻田大學鑄物研究所	堤 信久
13:20~13:35	K 44	鑄鐵の黒鉛化組織に関する研究(第5報) 白銑の焼鈍について		○青木猪三雄 目黒 博
13:40~13:55	K 45	白銑の脱炭に及ぼす成分の影響について		神田 陸郎
14:00~14:15	K 46	白心可鍛鑄鐵の焼鈍過程に於ける脱炭について		内藤 逸策
10 分 間 休 憩				
14:30~14:45	K 47	白銑の黒鉛發生機構にいて		岩瀬 慶三 ○可知 祐次
14:50~15:05	K 48	鐵中の炭素及び黒鉛化に對する Si, Mn の熱力學的機能について		岩瀬 慶三 ○可知 祐次
15:10~15:25	T 107	亜鉛添加による延性鑄鐵の研究	日本製鋼所室蘭製作所研究部	理博○前川 靜彌 山下 健
15:30~15:45	T 108	Bi に依る鑄鐵黒鉛の球狀化	東都製鋼K.K.技術部	工○山木 正義 須關 昭二
10 分 間 休 憩				
16:00~16:15	T 109	黒鉛の形態と鑄鐵の機械的性質の關係	九州大學工學部教授	工博 谷村 熙 工○吉田 正人
16:20~16:35	T 110	マグネシウムによる鑄鐵の脱硫限度に就て	名古屋大學工學部教授 同大學院特別研究生	理博○佐野 幸吉 工 村瀬 照明
16:40~16:55	K 49	球狀黒鉛鑄鐵の研究(第2報) 黒鉛球狀化に及ぼすPの影響並びに肉厚について		磯部 満武 ○千田 昭夫
17:00~17:15	K 50	ノデュラー鑄鐵の耐摩耗性に就て		谷村 熙 ○永松 祐治
17:20~17:35	T 111	球狀黒鉛鑄鐵の實用化について	八幡製鐵所技術研究所 同 工作部 同	工○加藤 健 三好 善敏 前田 俊和

第5會場 第1日

9:00~9:10		開 會 の 辭		
9:10~9:20	K 51	屈曲試験に關する一考察		○室町 繁雄 井上 弘道 森山 知浩
9:30~9:45	K 52	衝撃式微小硬度計について		岡田 實 渡邊 正紀 ○荒田 吉明 畑中 登喜 寺井 庄治
9:50~10:05	K 53	長時間クリープ試験装置について		
10 分 間 休 憩				

10・20~10・35	K 54	熱處理鋼線の連続検査法について (第2報)	上田 太郎 ○朝倉 健二
10・40~10・50	K 55	線の加熱引抜に関する研究	中村 康治 阿部 衛明 松井 豊明
10・55~11・10	K 56	鋼材の変態温度附近に於ける變形抵抗の考察	○豊島 清三 井手 正喜 藤本 久

通常總會及功績賞授與式  
晝 食

13・00~13・10	K 57	炭素-炭化珪素熱電對の研究	田中 忠良 ○舟橋 右哉
13・15~13・30	K 58	粗面精紡リングの摩擦抵抗について (第1報)	故 伊澤 猛三郎 ○寺澤 正男
13・35~13・50	K 59	化學研磨が鋼材の機械的性質に及ぼす影響について	寺澤 正男
13・55~14・10	K 60	化學研磨を施した球軸受について	寺澤 正男

10 分 間 休 憩

14・25~14・40	K 61	高温高压用バルブシート of 材料に関する研究 (第5報)	岡野 満 ○堀田 秀次
14・45~15・00	K 62	熱處理鋼の硬度と韌性の關係について	上田 太郎 ○樋口 正喬
15・05~15・20	K 63	オーステンパー及び焼入焼戻による鋼の機械的性質の相違について (第3報)	大和久重雄 ○飯島 一昭 相木 信雄 鈴木 盛一
15・25~15・40	K 64	急熱焼入鋼の機械的性質について (第1報)	大和久重雄 ○飯島 一昭 大塚友三郎

10 分 間 休 憩

15・55~16・10	K 65	鋼の疲労に関する磁氣的研究 (第3報)	上田 太郎 ○田中 政夫
16・15~16・25	K 66	疲労理論の一般化 (その1) 一小さい應力に對する公式	永井龍太郎
16・30~17・00	K 67	疲労の一般理論 (第8報) 組織と強度について	松本 久雄
	K 68	鋼の疲労理論 (第9報) 組織と強度について	松本 久雄
	K 69	鑄鐵の疲労理論 (第10報) 組織と強度について	松本 久雄

第6會場 第1日

9・00~9・10		開 會 の 辭	日本金屬學會會長
9・10~9・20	K 70	金屬及び合金の機械的粉碎方法 (第5報) (幻)	岡村 俊彦 ○稻垣 耕司
9・25~9・40	K 71	鐵カーボニルの酸化に依る $\gamma\text{-Fe}_2\text{O}_3$ の製法と其の應用について (第2報) (幻)	岡村 俊彦 ○小島 浩 鎌田 良夫
9・45~9・55	K 72	二相合金の加工の研究 (幻)	美馬源次郎 井本 正介 ○堀 茂徳
10・00~10・10	K 73	曲げ試験に依る合金の加工軟化の研究 (幻)	美馬源次郎 井本 正介 ○堀 茂徳
10・15~10・25	K 74	アルミニウムの下部組織と塑性に関する一考察 (幻)	光井友三郎 岩村 舜郎
10・30~10・40	K 75	冷間加工のX線的, 電子顯微鏡的研究 (幻)	○鹽田 信雄
10・45~10・55	K 76	金屬の再結晶核の發生位置について (幻)	森永 卓一 ○鹽田 信雄
11・00~11・10	K 77	結晶方向と再結晶の關係について (幻)	小野崎長英 楠本 健次
11・20~12・20		日本金屬學會第15回通常總會 同 第9回功績賞授與式 晝 食	○楠本 健次 太田陸奥男

13:00~13:15	K 78	金屬單結晶の衝撃試験(第1報)(幻)	○作井 誠太 大川 親久 佐藤 公子
13:20~13:35	K 79	冷間加工した亜鉛合金の軟化と再結晶(幻)	美馬源次郎 井本 正介 ○堀 茂徳
13:40~13:55	K 80	高度壓延を受けた金屬結晶の異常成長過程について(幻)	西村 秀雄 ○高村 仁一 沖 徹次郎
14:00~14:15	K 81	高温加工後のオーステナイト結晶粒成長(第3報)—高速度鋼について(幻)	武田 信男
14:20~14:35	K 82	析出現象の電子顕微鏡的観察—欠り帯の影響について(幻)	西村 秀雄 ○村上陽太郎
14:40~14:50	K 83	マグネシウムに富む Mg-Pb 合金の時効に関する X 線的研究(幻)	西山 善次 ○長島 晋一
14:55~15:10	K 84	錫青銅の恒温過冷變態(幻)	○長崎 久彌 木下健太郎
15:15~15:30	K 85	錫青銅のβ共析變態について(第4報)主として焼戻組織と X 線的研究(幻)	細井 吉一
15:35~15:50	K 86	眞鍮條の Grain size に関する研究(幻)	○平田 政七 佐々木 寛
15:55~16:10	K 87	ニッケル單結晶腐蝕面の電子顕微鏡—電子廻折的研究(幻)	菅野 正治 山口 成人
16:15~16:30	K 88	可鑄性の研究(第10報)金屬による可走性の相違について(幻)	故 今井 弘 ○堀 一夫 原口 三郎
16:35~16:50	T 112	鋼材表面の熱間加工性に及ぼす加熱雰囲気の影響(第1報)(幻)	池島 俊雄
16:55~17:10	T 113	高マンガン鋼の加工硬化の研究(幻)	○森島 達明 郡 勇

## 第6會場 第2日

9:00~9:15	K 89	粒狀黒鉛鑄鐵の磨耗に関する研究(幻)	○小川喜代一 竹内 榮一
9:20~9:35	T 114	Mg 處理鑄鐵の Grid への適用に就て(幻)	○岡本 正三 阿部 雅一
9:40~9:55	T 115	球狀黒鉛鑄鐵に関する 2, 3 の知見(幻)	○長谷川太郎 益子 英明
10:00~10:15	T 116	球狀黒鉛生成に及ぼす原料銑の影響(幻)	谷村 照扶 ○松田 公治 伊豆 隆次
10:20~10:35	T 117	鑄鐵に及ぼす Ca の影響に就て(幻)	草川 隆次
10:40~10:55	K 90	白銑の急速加熱	○横田 清義 井口 信洋
11:00~11:15	K 91	急速加熱鋼の研究(第8報)マルテノーフェライト鋼について(幻)	○横田 清義 井口 信洋
11:20~11:35	T 118	白銑の黒鉛化並に超音波によるセメントタイトの黒鉛化(幻)	田中 清治 吉田 高明 ○高木甲子雄
11:40~11:50	K 92	鋼の滲炭より見た黒鉛化現象に就て(幻)	河上 益夫 ○藤 英章 西村 清
11:55~12:05	K 93	鋼の滲炭試料表面の顯微鏡的觀察とその應用(幻)	河村 益夫 ○藤 英章 林 昇
12:10~12:25	K 94	液狀滲炭に於ける硬化層に及ぼす處理時間、温度の影響(幻)	○大森 淳夫 大河内 榮一

## 晝食休憩

13:00~13:15	K 95	鑄鐵の高周波焼入の研究(第2報)粒狀黒鉛鑄鐵及び可鍛鑄鐵の高周波焼入の基礎的研究について(幻)	高瀬 孝夫 ○岡林 邦夫
13:20~13:35	K 96	高周波焼入せる炭素鋼の硬度にあらはれたる諸現象(幻)	高瀬 孝夫 ○三谷 裕康

13:40~13:55	T 119	鋼の表面焼入に関する研究, 高周波焼入ならびに火焰焼入による硬度と組織との関係 (幻)
14:00~14:15	T 120	特殊鋼の焼入硬化能に関する研究 (第1報) (幻)
14:20~14:35	T 121	鐵鋼の材質に及ぼす酸素の影響 (第3報) (幻)
14:40~14:55	T 122	オーステナイト結晶粒の混粒に関する 2, 3 の観察 (幻)
15:00~15:15	T 123	超音波探傷器の應用例に就いて (幻)
15:20~15:35	T 124	先端開放型 W-Mo 熱電對の試作並に其の利用に就て (幻)
15:40~15:55	T 125	製鋼作業に於ける高温高速注入實驗結果について (幻)
16:00~16:15	T 126	熔鋼の流動性測定法に就いて (幻)
16:20~16:35	T 127	熔鋼よりの輻射について (幻)
16:40~16:55	T 128	コークスのマイクロストレングスの成因に就て (コークスの固さについて……第2報)
17:00~17:15	T 129	交流磁力選鑛に就て

○横山	均次
○島田	隆介
辻	秀雄
○淺田	千秋
○保田	正文
齋藤	泰一
河井	泰治
○河井	泰治
田坂	鋼二
辻本	信一
○有川	正康
○下瀬	高明
石原	重利
○有川	正康
○下瀬	高明
菅野	猛
赤羽	正輝
久田	清明
○城本	義光
原田	源三郎

### 第7會場 第1日

9:00~9:10	開會の辭	
9:10~9:25	K 97	キュリー點を利用した簡易磁氣分析装置
9:30~9:45	K 98	試作自動記録式磁化迴轉力計による純鐵の研究
9:50~10:00	K 99	鐵壓粉體の磁性について
10 分間 休憩		
10:15~10:30	K 100	極軟鋼の磁性に及ぼす加工並びに焼鈍の影響
10:35~10:50	K 101	Co-Fe-V 系永久磁石合金に對する添加元素の影響
10:55~11:10	T 130	珪素鋼帯の磁性に及ぼす Cu 及び N <sub>2</sub> の影響
10:20~12:00	通常總會及び功績賞授與式 (第6會場)	
晝食 休憩		
13:00~13:15	K 102	Fe-Ni-Al 強磁性合金の熱處理に依る磁性の變化について (第5報) Ni 27%, Al 7~15% 及び Al 15%, Ni 26%, Co 0~15% の場合について
13:20~13:35	T 131	MKV 磁石鋼の磁性に及ぼす添加元素の影響
13:40~13:55	K 103	鐵鋼の熱處理及び性質, 焼入磁石鋼の焼戻し機構について
14:00~14:15	K 104	再び鋼の變態理論について
10 分間 休憩		
14:20~14:45	K 105	各種鋼の各溫度に於ける眞比熱並びに變態熱 (第4報) 恒溫變態の熱變化
14:50~15:05	K 106	高炭素低 Cr 鋼の Ar'' に於ける變態機構の磁氣的的研究
15:10~15:25	K 107	急速加熱鋼の研究 (第7報) α 鐵の Ac <sub>3</sub> 變態について
15:30~15:45	K 108	鋼の焼戻過程の考察-F <sub>2</sub> C の存在について
10 分間 休憩		
16:00~16:15	K 109	引張及び壓縮加工せる炭素鋼棒の低温焼鈍による變形に及ぼす炭素含有量の影響について

○高木	通泰
○三戸	曉
岩井	直次
穂坂	直弘
○高崎	晃昇
○北村	尙三
○川崎	正
篠田	軍治
三島	徳七
太刀川	泰治
牧野	昇
小野	健二
佐々木	良一
中鉢	光雄
三島	徳七
○牧野	昇
○櫻井	昭二
○牧野	昇
○山川	和郎
岡田	實
○佐藤	知雄
○西野	知良
○小野	健二
○根本	正
○横田	清義
○井口	信洋
○今井	勇之進
市山	正
○關口	春次郎
稻垣	道夫

- 16・20~16・35 K 110 引張及び壓縮加工せる低炭素鋼棒の焼鈍による變形に及ぼす析出の影響について
- 16・40~17・10 K 111 炭素鋼の加熱冷却による變形について

○關口春次郎  
稻垣道夫  
關口春次郎  
稻垣道夫

### 第7會場 第2日

- 9・00~9・15 K 112 鐵鋼の光輝焼鈍劑について
- 9・20~9・35 K 113 鋼の光輝加熱及び滲炭處理への市販ガスの應用につい(第1報)市販ガスを鋼の熱處理ガスとするための變成爐について
- 9・40~9・55 K 114 木炭ガスと鋼との反應に對する硫化水素の影響について
- 10・00~10・15 T 132 ガス滲炭に於ける水素の影響

河上益夫  
○小室登  
河上益夫  
○内田莊祐  
河上益夫  
○内田莊祐  
○吉井周雄  
中里幸雄

#### 10 分 間 休 憩

- 10・30~10・45 K 115 液體滲炭窒化に關する基礎的研究(第2報)硬化層について
- 10・50~11・05 K 116 液體滲炭に關する一考察
- 11・10~11・25 K 117 液體滲炭の機構とその硬化能について
- 11・30~11・45 T 133 迅速滲炭法の研究

久恒中陽  
○吉川文岳  
大澤 恂  
○松本久雄  
北田元一  
多賀合正義  
足立彰  
○石川影努  
大場健二  
○川村宏矣  
川田雄一

- 11・50~12・05 K 118 小型時計ゼンマイの作動中に於ける應力分布について

#### 通常總會及功績賞授與式 (第6會場)

#### 晝 食 休 憩

- 13・00~13・10 K 119 焼結體を組合せとする鋼の残留應力に就いて
- 13・15~13・30 K 120 局所加熱に依る簡易な残留應力除去に就いて
- 13・35~13・50 K 121 熱残留應力の除去について
- 13・55~14・10 K 122 高周波移動表面焼入棒鋼に於ける内部應力の測定

岩瀬慶三  
○佐野忠雄  
京谷益次  
岩瀬慶三  
佐野忠雄  
京谷益次  
小林卓郎  
上田太郎  
糸井茂

#### 10 分 間 休 憩

- 14・25~14・40 K 123 軌條高周波焼入による焼入歪防止の研究
- 14・45~15・00 K 124 工具鋼の焼歪防止に關する研究(續報)
- 15・05~15・20 K 125 鋼の焼入による残留應力について(第2報)
- 15・25~15・40 T 134 滲炭鋼の不完全焼入による脆化(第1報)

山口博  
横山均次  
○松倉恒夫  
藤澤宮次  
○高瀬孝夫  
三谷裕康

#### 10 分 間 休 憩

- 15・55~16・10 K 126 焼入液の冷却能力について(第3報)
- 16・15~16・30 K 289 加熱速度と純鐵の粒度について
- 16・35~16・50 K 127 鋼の焼入冷却油に關する研究(第1報)一般的考察
- 16・55~17・30 K 128 焼入冷却劑の研究(I)

○作井誠太  
佐藤君子  
作井誠太  
佐藤君子  
佐藤知雄  
渡邊伊三郎  
藤村全成  
多賀谷正義  
岩崎振一郎  
○田村今男

### 第8會場 第1日

- 9・00~9・10 開 會 の 辭
- 9・10~9・20 K 129 フローゲン鐵單結晶の磁氣一抵抗效果

白川勇記  
○大原 享

9.25~9.40	K 130	Ni-Sn 合金の時効硬化過程に於ける磁性の變化について	三島 徳七 橋口 隆吉 ○木村 康夫
9.45~10.00	K 131	パーマロイ丸棒の縦振動共振曲線の解析	○穂坂 直弘 態谷 頼明 金井 泰三
10 分間 休憩			
10.15~10.30	K 132	三元合金規則格子の實驗的研究 Fe-Co-Cr 系 (續報)	里 洋 ○山本 尙夫
10.35~10.50	K 133	Fe-Cr-Al 系合金の研究 (第3報) Fe-Cr 系規則格子相の比熱測定 (第4報) Fe-Cr 系合金に於けるX線的研究	武田 修三 ○永井 直記 岩間 義郎
10.55~11.10	K 134	鐵=ツケル合金の規則不規則變態とクリープ特性について (II)	○鈴木 平 山本 美喜雄
11.20~12.00	通常總會及功績賞授與式 (第6會場) 晝食 休憩		
13.00~13.15	K 135	Mg-Cd 系規則格子合金の研究 (第6報)	平林 眞
13.20~13.30	K 136	ホイスラー合金について	一色 貞文 ○堀田 正之
13.35~13.45	K 137	高クロム鋼の研究 (第3報) Fe-Cr 系 $\alpha$ 相合金の高温に於ける異常性について	今井 勇之進 ○熊田 健三郎 庄子 浩
13.50~14.05	K 138	Fe-Co-Cr-Ni 系合金の熱膨脹, 剛性率及びその温度係數について (第2報) 30%Ni を添加せる合金	増本 量夫 ○齋藤 英夫
10 分間 休憩			
14.20~14.30	K 139	薄板状蒼鉛結晶の研究 (第1報)	田邊 彌佐久 ○藤崎 春雄
14.35~14.50	K 140	金屬及び合金の温度變化に伴ふ密度變化について (第1報)	○堀 一夫 川崎 擷雄
14.55~15.05	K 141	金屬組織の局部分光分析について (第1報) 粒状鑄鐵中の Mg の所在及び遠心鑄造に依る銅-鉛軸受合金の鉛の偏析	大藤 能親 ○濱口 隆信 岸 實
15.10~15.25	K 142	壓縮加工による銅單結晶の比重の變化	一色 貞文 ○木村 宏
15.30~15.45	K 143	$\alpha$ 眞鉛の異常硬化現象に關する研究 (第1報)	佐藤 充 鈴岡 俊郎
10 分間 休憩			
16.00~16.15	K 144	4~6 眞鉛の $\beta$ から $\alpha$ の析出する機構	○篠田 軍治 天野 嘉次
16.20~16.35	K 145	常温時効硬化の進行する時間的段階に對應して試みた復元温度での焼戻しについて	深海 繁
16.40~16.55	T 135	超音波による鋼中探傷の 1, 2 の實驗	高沖 亮
17.00~17.15	K 146	金屬に對する超音波の影響について (第1報) 1. 鐵-亜鉛反應への超音波の作用	岡田 實 ○荒田 吉明 今宗 重威
第8會場 第2日			
9.00~9.15	K 147	金屬の結晶成長の研究 (II) 亜鉛の二次再結晶について	岡本 常義
9.20~9.30	K 148	金屬の結晶成長の研究 (III) 銅について	○岡本 常義 鈴木 正文
9.35~9.50	K 149	金屬の結晶成長の研究 (IV) 銅の結晶成長の活性化エネルギーとの關係について	○岡本 常義 鈴木 正文
9.55~10.10	K 150	再結晶による結晶生長の機構 (V)	竹内 榮次 鈴木 秀 池田 晋
10 分間 休憩			
10.25~10.35	K 151	結晶粒の異常成長に關する研究 (第3報)	大野 恭男
10.40~10.55	K 152	$\alpha$ 固溶體に關する研究 (第4報) $\alpha$ 固溶體の電気抵抗 ( $P_A$ ) と強さ ( $\sigma_B$ ) との干係	石田 四郎
11.00~11.15	K 153	純金屬の温度に伴ふ臨界剪斷應力の變化に關する考察	石田 四郎

- 11・20~11・35 K 154 加工せるニッケルの軟化に伴ふ磁性的變化と内部應力 三島 德七  
橋口 隆吉  
木村 康夫  
○服部 喬  
五弓 勇雄  
○阿部 秀夫  
後閑 敬也
- 11・40~11・55 K 155 冷間壓延板の残留歪力異方性の研究

晝食休憩

- 13・00~13・15 K 156 アルミニウム單結晶の壓延加工及び恢復に伴ふ格子歪の變化 五弓 勇雄  
○阿部 秀夫  
小原 嗣朗
- 13・20~13・30 K 157 加工したアルミニウム單結晶の恢復と再結晶に關するX線的研究 故 今井 弘  
○織田 貞四郎  
吉井 徹
- 13・35~13・50 K 158 加工金屬の焼鈍效果に關する研究(第2報)アルミニウム單結晶の軟化過程について 榛葉 久吉  
○北島 貞吉
- 13・55~14・05 K 159 電解析出銅の内部歪について 西原 清廉  
○津田 精三

10 分間休憩

- 14・20~14・35 K 160 高温に於ける金屬の内部摩擦と彈性率の變化の一つの連續的測定法及び2, 3の金屬の測定結果について(第1報) 渡邊 英造  
○高橋 修一郎
- 14・40~14・55 K 161 金屬結晶の内部摩擦について 三島 德七  
橋口 隆吉  
○平井 忠正
- 15・00~15・15 K 162 非等方性物質に於ける内部摩擦の研究 美馬 源次郎  
○井本 正介
- 15・20~15・30 K 163 内部應力と内部摩擦に關する研究(第4報)銅單結晶の塑性變形について 谷 安正  
○大澤 眞人

10 分間休憩

- 15・45~16・00 K 164 變形型式の相違が金屬の内部摩擦に及ぼす影響 野本 明  
志真 俊夫
- 16・05~16・15 K 165 岩鹽型化合物の結晶構造の微小變形(擬變態について) 下村 保光
- 16・20~16・35 K 166 逆ウイデマン效果に及ぼす塑性振りの影響 山田 巖治  
篠田 軍治
- 16・40~16・55 K 167 逆ウイデマン效果に依る塑性變形の研究(第1報) 津田 覺  
佐藤 裕二

第9會場 第1日 4月1日

- 9・00~ 9・10 開會の辭
- 9・10~ 9・25 K 168 沃度法に依る純チタン精製 淺田 常三郎  
川西 政治  
古田 純一郎  
永井 信行  
菊池 理一
- 9・30~ 9・45 K 169 チタンの瓦斯吸着による純度測定 淺田 常三郎  
○川西 政治  
中塚 敏郎
- 9・50~10・05 K 170 熔融鹽電解に依る金屬チタニウムの製造 高尾 善一郎  
○高橋 孝吉  
草道 英武  
馬淵 平

10 分間休憩

- 10・20~10・35 K 171 金屬チタニウムの工業生産に關する基礎研究 西村 秀雄  
久島 玄三郎  
森山 除一郎  
龜井 清  
井本 立也
- 10・40~10・55 K 172 可鍛金屬チタンに關する研究(第2報)物理的及び化學的性質の測定 佐藤 知雄  
金子 秀夫  
○須藤 一
- 11・00~11・15 K 173 眞空蒸溜による金屬の精製の研究 和川 次郎  
笹川 雅信

通常總會及功績賞授與式 (第6會場)

11・20~12・00

## 晝食休憩

- 13・00~13・15 K 174 亜鉛の再結晶に関する研究—主として二次再結晶について
- 13・20~13・35 K 175 内部摩擦測定による亜鉛合金の研究
- 13・40~13・55 K 176 亜鉛合金に関する研究 (第8報)
- 14・00~14・15 K 177 マグネシウム合金の時効 (第3報)

和田 次郎  
○中村 建吾  
渡邊 英造  
高橋 修一郎  
○唐島 實  
○加藤 正夫  
武谷 清昭  
小林 昌敏  
小久 恒陽  
○西成 基  
鬼頭 嘉門

## 10 分間休憩

- 14・25~14・40 K 178 Mg, Mg 合金の再結晶 (Ⅲ)(再結晶温度附近の熱起電力について)
- 14・45~15・00 K 179 帯鋼の後方張力附加引抜法の研究 (第1報) 平ダイスによる引抜
- 15・05~15・20 K 180 加工の研究 (第8報) 再び合金の加工異常硬化について
- 15・25~15・40 K 181 アルミニウムの衝撃押出法の研究 (第2報) 押出ケースの性質及び結晶學的耳について

市川 理衛  
五弓 勇雄  
○小林 勝  
五十嵐 努  
五十嵐 勇  
○根元 弘人  
五弓 勇雄  
○鈴木 壽  
三好 俊吉

## 10 分間休憩

- 15・55~16・10 K 182 アルミニウム板の深紋りについて (第2報)
- 16・15~16・30 K 183 Al 板の展延条件と深紋り耳の關聯について
- 16・35~16・50 K 184 Al 板に於ける深紋り耳の發生機構について
- 16・55~17・10 K 185 Al 板の深紋り能に影響する 2, 3 の因子について

○山口 秀夫  
中村 雄儀  
梶山 儀宣  
溝部 義宣  
麻田 宏  
田中 英八郎  
○小池 吉藏  
麻田 宏  
田中 英八郎  
○小池 吉藏  
麻田 宏  
○田中 英八郎  
小池 吉藏

## 第9會場 第2日

- 9・00~ 9・15 K 186 熔融合金系の Soret 効果
- 9・20~ 9・35 K 187 鑄造の研究 (第6報) 砂型鑄物の湯流れについて
- 9・40~ 9・55 K 188 熔融合金の流動性測定法及びアルミニウム地金の流動性に及ぼす溶解条件の影響
- 10・00~10・15 K 189 アルミニウム三元合金の流動性に関する研究 (第1報) Al-Cu-Si 合金の流動性について

川上 進  
五十嵐 勇  
○大平 五郎  
森田 志郎  
宮岡 正徳  
加藤 明徳  
森田 志郎  
西堅 次郎  
○宮岡 正

## 10 分間休憩

- 10・30~10・45 K 190 Al 合金の鑄造偏析に関する研究 (第2報)
- 10・50~11・05 K 191 流しつき法による Al 鑄物の突出部附近の異常性
- 11・10~11・25 K 192 アルミ鑄塊の鑄造割れの研究
- 11・30~11・45 K 193 加工の研究 (第6報) アルミニウムの耐酸性に対する加工並に成分の影響
- 11・50~12・05 K 194 加工の研究 (第7報) アルミニウムの鑄塊割れについて

室町 繁雄  
○清水 幸男  
金原 悦三  
○森永 卓一  
池野 尙志  
入島 美雄  
○潮田 豊治  
岩元 隆雄  
五十嵐 勇  
○戸枝 常雄  
五十嵐 勇  
○中村 元志  
大久保 静夫

## 晝食休憩



13:00~13:15	K 195	Al ダイ鑄物に發生する Blister について	岩村 露郎 池田 滋 ○友部 正三
13:20~13:30	K 196	Al 地金に對する窒化アルミの影響について	大日方 一司 ○栗原 健助
13:35~13:50	K 197	高純アルミの微量不純物の電解コンデンサー透電體波膜に及ぼす影響 (第2報)	○川島 浪夫 中村 雄造 奥川 卓爾
13:55~14:10	K 198	高純アルミの再結晶温度について (第3報) 微量不純物の影響	川島 浪夫 ○中村 雄造
10 分 間 休 憩			
14:25~14:40	K 199	純 Al の再結晶に關する研究	○石田 制一 安盛 昭善
14:45~15:00	K 200	工業用 Al 板の結晶粒の大きさに及ぼす諸因子について	畑 榮一
15:05~15:10	K 201	アルミニウム及其合金のコンクリート腐蝕試験並塗料塗装による防蝕效果試験	大津 武通
15:25~15:40	K 202	船舶輕合金に關する研究 (第1報) 板の耐蝕試験	石田 四郎 中村 熙 ○麻田 宏 田中英八郎 大日方 一司 加藤 正夫 中村 康治
10 分 間 休 憩			
15:55~16:10	K 203	ベリリウムを加えた時効性アルミニウム合金 I アルミ-銅-ベリリウム及びアルミ-銅-マグネーベリリウム合金	三島 良績
16:15~16:30	K 204	ピストン鑄造用輕合金について (第1報) (MS 76 合金)	丹治 道生 ○富田 昌治
16:35~16:50	K 205	14 S 系アルミニウム合金に於ける熱處理の影響	田中 沙 ○長久保 榮一 加藤 正夫
16:55~17:05	K 206	アルミニウム-亜鉛-銀三元状態圖に關する研究 (第1報)	岡村 朝彦
17:10~17:30	K 207	多元素 Al 合金の金相學的研究	小松 登
第 10 會 場 第 1 日			
9:00~ 9:10		開 會 の 辭	
9:10~ 9:25	K 208	鐵合金の基礎的研究 (第2報) 白鐵と銅の接觸界面の電子廻析による研究	田崎 潤三
9:30~ 9:45	K 209	銅, カドミウム合金の耐熱性について	佐々木 寛 ○植木 貞次
9:50~10:05	K 210	Mn, Sn を含む Cu 基合金の電氣抵抗について	西村 秀雄 ○足立 正雄
10 分 間 休 憩			
10:20~10:35	K 211	7/3 眞鍮の方向性について (第2報)	村上 蕪
10:40~10:55	K 212	β-Brass の壓延構造について	麻田 宏 ○田中英八郎
11:00~11:15	K 213	正四六黃銅板の諸性能に及ぼす少量の Fe, Pb, Al の影響に關する研究	河内 利平
通常總會及功績賞授與式 (第6會場)			
晝 食 休 憩			
13:00~13:15	K 214	眞空管用銅に關する研究 (第1報) 純銅よりのガス放出について	河上 益夫 染野 檀
13:20~13:35	K 215	バネ用銅合金の研究 (第3報) バネ用銅合金の最終加工度と固溶體成分の低温焼鈍後の永久變形 (バネ性) に及ぼす影響	渡邊 英造 ○高橋修一郎 唐島 實 今野 熙
13:40~13:55	K 216	通信機用バネ材料の品質の均一性について	○渡邊 英造 高橋修一郎 唐島 實
14:00~14:15	K 217	金屬の表面處理による諸性質の變化 (第3報) 鍍金せるりん青銅の接觸抵抗について	小西 芳吉 ○森本 一郎 鈴木 明雄

## 10 分 間 休 憩

- 14・30~14・45 K 218 燐青銅について (第2報)  
 14・50~15・05 K 219 電話機ゴングの製造について  
 15・10~15・25 K 220 各種黄銅製のゴング (磁石電鈴) としての實用試験  
 15・30~15・45 K 221 銅-黒鉛系焼結合金の研究

室町 繁雄  
 ○渡邊 久藏  
 富本 昭二  
 ○穂坂 直弘  
 薮田 清一  
 秋元 元繼  
 ○樫淵 徹  
 津田 尙克  
 佐藤 知雄  
 ○金子 秀夫

## 10 分 間 休 憩

- 16・00~16・15 K 222 梵鐘の金相學的研究 (第2報)  
 16・20~16・30 K 223 銅-ベリリウム合金のβ共析變態について  
 16・35~16・50 K 224 銅-滿佗二元合金の銅側固溶體に關する研究 (第2報)  
 16・55~17・10 K 225 眞鍮の比熱測定によるその異常硬化の研究  
 17・15~17・30 K 226 内部摩擦測定に依る銅合金の研究

森永 卓一  
 ○養田 實  
 高橋 恒夫  
 ○川崎 正之  
 山路 賢吉  
 和泉 修  
 佐藤 知雄  
 ○西野 知良  
 渡邊 英造  
 ○高橋 一郎  
 唐島 實

## 第 10 會 場 第 2 日

- 9・00~ 9・15 K 227 Tammann-Bridgeman の方法による錫單結晶の製作について  
 9・20~ 9・35 K 228 錫單結晶の光像  
 9・40~ 9・50 K 229 亜鉛及砒鉛の單結晶の蝕蝕現象と溶解速度の異方性について  
 10・00~10・15 K 230 亞酸化銅整流器の基礎的研究 (第3報) 再結晶法によるCu單結晶の製作

山本美喜雄  
 ○渡邊 慈朗  
 ○山本美喜雄  
 渡邊 慈朗  
 ○山本美喜雄  
 渡邊 慈朗  
 河上 益夫  
 ○田内 省二

## 10 分 間 休 憩

- 10・30~10・45 K 231 金屬セレンの同素變態について (主として電氣傳導度の溫度特性)  
 10・50~11・00 K 232 セレン及びその合金の研究 (第8報) 熔融セレンの電氣抵抗に及ぼす賦活濟の影響  
 11・05~11・20 K 233 半導體の研究 (第6報)  $\text{Cu}_2\text{O}$  整流板の特性に及ぼす銅素材の純度の影響  
 11・25~11・35 K 234 鐵より放出されるガスの抑制について  
 11・40~11・55 K 235 低炭素鋼の眞空中加熱によるガス放出

山森 末男  
 佐藤 知雄  
 金子 秀夫  
 ○松前 達郎  
 佐藤 知雄  
 金子 秀夫  
 ○増木 剛  
 齋藤 昇  
 ○大槻 太郎  
 本山 華々  
 ○齋藤 昇  
 大槻 太郎

## 晝 食 休 憩

- 13・00~13・15 K 236 ニッケル薄板のガス放出について  
 13・20~13・35 K 237 眞空管用純ニッケル製の水素處理に依る表面の曇り現象について  
 13・40~13・55 K 238 コーリンバー音片材料の研究  
 14・00~14・15 K 239 電氣接點材料に關する研究 (第4報) 數種の金屬及び合金の移轉特性について

有住 鐵彌  
 ○前川 俊一  
 池田 駿  
 川上 司郎  
 鈴木 弘毅  
 ○齋藤 幸雄  
 増本 量  
 白川 勇  
 ○小熊 一  
 朝井 英清  
 岡本 平

## 10 分 間 休 憩

- 14・30~14・45 K 240 バイメタルに關する研究 (第6報) (バイメタルの内部應力に及ぼす焼鈍効果)

小西 芳吉  
 ○高橋 良二

- |                |       |   |                          |
|----------------|-------|---|--------------------------|
| 14・50~15・05    | K 241 | 放射性同位元素 $Co^{60}$ を用いた、ラジウム代用合金の製作に関する研究                  | ○加藤 正夫<br>武谷 清昭          |
| 15・10~15・20    | K 242 | 歯科用合金の研究 (第5報) 賤金属基鑄造用合金                                  | 大日方一司<br>山路 賢吉           |
| 15・25~15・40    | K 243 | 鉛-カルシウム-バリウム合金の硬度に及ぼす添加金属の影響                              | ○水野 昂一<br>若生 敏夫<br>美濃部輝吉 |
| 10 分 間 休 憩     |       |   |                          |
| 15・55~16・10    | K 244 | 平軸受白メタルの焼損とその防止   | 佐藤 忠雄<br>○齋藤 稔男          |
| 16・15~16・30    | K 245 | 電熱線の改良についての一実験  | 佐藤 知雄<br>○矢鳥悦次郎<br>美山悌二郎 |
| 16・35~16・50    | K 246 | タンゲステン線の高温性能 (第2報) 常温抗張力に及ぼす高温焼鈍の影響                       | 川上 陸水                    |
| 16・55~17・10    | K 247 | W 及び Thoriated Tungsten の spring 特性                       | ○飯田 素貞<br>大藤 尙司          |
| 第 11 會 場 第 1 日 |       |   |                          |
| 9・00~ 9・10     |       | 開 會 の 辭   |                          |
| 9・10~ 9・25     | K 248 | 金属の陰極的防蝕法の研究 (第5報)  | 伊藤 伍郎                    |
| 9・30~ 9・45     | K 249 | 酸性河水を使用する水力発電所に於ける腐蝕及び防蝕の研究 (その I) 高速酸性河水中に於ける鉄及び銅合金の腐蝕機構 | 遠藤 彦造<br>○石原 三郎<br>澤田 可信 |
| 9・50~10・05     | K 250 | 酸性河水を使用する水力発電所に於ける腐蝕及び防蝕の研究 (その II) 酸性河水に依る腐蝕の電気化学的研究     | 遠藤 彦造<br>石原 三郎<br>○澤田 可信 |
| 10 分 間 休 憩     |       |   |                          |
| 10・20~10・35    | K 251 | 熔融亜鉛による鉄鋼の熔蝕について (第1報)                                    | 清水 恭治<br>○二川 和正          |
| 10・40~10・55    | K 252 | 亜鉛の腐蝕について   | ○乾 忠孝<br>松尾 茂樹           |
| 11・00~11・15    | K 253 | アルミニウムおよびその合金の異種金属との接觸腐蝕                                  | 加藤 正夫<br>○中村 康治          |
| 11・20~12・00    |       | 通常總會及び功績賞授與式 (第6會場)                                       |                          |
| 晝 食 休 憩        |       |   |                          |
| 13・00~13・15    | K 254 | アルマイト皮膜の色に及ぼす焼鈍の影響  | ○潮田 豊治<br>小沼 治作          |
| 13・20~13・35    | K 255 | 金属の陽極溶解について (第2報) 銅を含む銀合金の陽極溶解                            | 伊藤 尙敬<br>○東 敬            |
| 13・40~13・55    | K 256 | 合金の電気化学的性質に関する研究 (第2報) Fe-Ni 合金の電気化学的性質                   | 森岡 進<br>○崎山 和孝           |
| 14・00~14・15    | K 257 | 直接電解による鉄粉の製造について (第1報) 硫酸第一鉄溶液を用いた場合の電解条件の析出物の形状に及ぼす影響    | ○原 善四郎<br>福武 省至          |
| 10 分 間 休 憩     |       |   |                          |
| 14・30~14・40    | K 258 | セレンの電着に関する研究 (第1報) 亜セレン酸酸性浴について                           | ○安川 三郎<br>位崎 敏男          |
| 14・45~14・55    | K 259 | 真空管用 Ni 板の曇りに関する電子廻折的研究                                   | ○小川 四郎<br>渡邊傳次郎          |
| 15・00~15・10    | K 260 | Cu-Al 合金の選擇酸化による耐變色性の改良                                   | ○木村 尙彦<br>岡村 俊彦          |
| 15・15~15・25    | K 261 | Cu-Al 合金選擇酸化の電子廻折的研究                                      | ○渡邊傳次郎<br>木村 尙<br>小川 四郎  |
| 15・30~15・45    | K 262 | 銅及銅合金の電解的特性について (第1報)                                     | 近藤 豊                     |
| 10 分 間 休 憩     |       |   |                          |
| 16・00~16・15    | K 263 | 銅の交流電解研磨について  | 田中 晃                     |
| 16・20~16・35    | T 136 | エチレングリコールを添加剤とする電解液による鋼管の電解清浄について                         | ○大西 正次<br>高橋 弘孝          |
| 16・40~16・55    | K 264 | 鉄鋼の電気化学的及び化学的研磨に及ぼす熱処理の影響について                             | 故 伊澤猛三郎<br>○呂 戊辰         |

17:00~17:15 K 265 電氣化學的及び化學的研磨に依る梨地面の生成機構

故 伊澤猛三郎

○呂 戊辰

17:20~17:35 K 266 高速度鋼の電氣化學的及び化學的研磨法

故 伊澤猛三郎

○呂 戊辰

### 第 11 會場 第 2 日

9:00~ 9:15 K 267 金屬レブリカの研究 (續報)

田邊 良美

9:20~ 9:35 K 268 アルミニウム製錬過程に於ける含有ガスの舉動について

岩村 霽郎

○鈴木 正敏

9:40~ 9:55 K 269 熔融合金の活量について (第 2 報)

小野 健二

○堀 眞市

三 隆

10:00~10:15 K 270 酸素に對する鐵及び錫の親和力比較

○佐野 幸吉

宮川 哲夫

### 10 分 間 休 憩

10:30~10:45 K 271 Pyrrhotite に固溶する硫黃の活動係數について

○岡嶋 和夫

佐野 幸吉

丹羽 貴知

10:50~11:05 K 272 二硫化鐵の水素による還元速度

○勝藤 昌伸

前川 立夫

11:10~11:25 K 273 四沃化チタンの熱分解平衡

竹内 榮

○相原 朝夫

11:30~11:45 K 274 水素による硫化マンガンの還元平衡について

○紀平 篤

佐野 幸吉

11:50~12:05 K 275 石灰の吸濕速度について (第 4 報)

渡邊 昭二

○坂尾 弘吉

佐野 幸吉

### 共 食 休 憩

13:00~13:15 K 275 Ti 含有超硬質合金の炭化物について (第 1 報)

西山 厚

13:20~13:35 K 277 沈降法によるタングステン及び炭化タングステン粉末の粒度分布測定法並に粉末粒度の超硬合金に及ぼす 2, 3 の影響について

三好 章義

13:40~13:50 K 278 タングステン粉末及びモリブデン粉末の焼結に關する研究 (第 2 報)

○西土井 正

名川篤之助

13:55~14:05 K 279 酸化タングステンの水素還元について

○西土井 正

名川篤之助

### 10 分 間 休 憩

14:20~14:35 K 280 タングステン粉末粒子の加熱による生長と粒度分布

伊地山 昇

14:40~14:55 K 281 鐵カーボニルの合成條件について

岡村 俊彦

小島 浩

15:00~15:15 K 282 金屬及び硝子の球形粒子に於ける凝着速度

○鎌田 良夫

○菊田 眞雄

増田 良道

岡村 俊彦

15:20~15:35 K 283 金屬粉末の焼結過程に於ける電氣抵抗について

○木村 尙

増田 良道

岡村 俊彦

### 10 分 間 休 憩

15:50~16:00 K 284 相互溶解性なき 2 つの物質の濡れについて

岩瀬 慶三

○小川 和彦

小島 寅次

眞野 之夫

16:05~16:20 K 285 粉末接合現象に關する研究 (第 10 報) 焼結素過程に關する 2, 3 の實驗

岩瀬 慶三

○小川 和彦

笠松 利夫

16:25~16:35 K 286 粉末冶金製品の形態束縛離脱への一試案について

岩瀬 慶三

小川 和彦

16:40~16:50 K 287 粉末冶金製造技術上の諸條件の分類について

岩瀬 慶三

小川 和彦

16:55~17:10 K 288 粉末接合現象に關する研究 (第 11 報) 焼結に伴う粒成長の條件に就いて

岩瀬 慶三

○小川 和彦

松村源太郎

日本鐵鋼協會第41回講演大會出席申込票

フリガナ付

氏名 通信先 會員別 名譽・維持 贊助・正・學生

出席費 (晚餐會費共) 同封郵送・振替拂込 (不要の文字をお消し下さい)

勤務所及び所在地

希望見學工場 (御希望の班に○印及び希望順序お付け下さい)

希望順序		希望順序	
班	集合時刻	班	集合時刻
I	9.30 朝日新聞社	VIII	9.30 燃料研究所
(一部)	14.00 日本放送協會		13.00 日本特殊鋼管K. K.
(二部)	15.00 日本コロムビアK. K.	IX	10.00~ 日本鋼管K. K. 川崎製鐵所
II	9.30 富士製鐵K. K. 川崎製鋼所		16.00
III	13.00 日本コロムビアK. K.	X	10.00 昭和電工K. K. 川崎工場
IV	9.30 東京工業試験所		13.00 東京製鋼K. K. 川崎工場
	13.00 太平鑛業K. K. 研究所	XI	4.30 東都製鋼K. K. 本庄製鋼所
V	9.30 いすゞ自動車K. K. 川崎製造所		13.00 高砂鐵工K. K. 大島工場
	13.00 日本鋼管K. K. 鶴見製鐵所	XII	10.00~ 浦賀造船K. K. 浦賀造船所
VI	9.30 日産自動車K. K. 横濱工場		16.00
	13.00 新日本鑄造K. K.	XIII	9.30 K. K. 日立製作所龜有工場
VII	9.30 工業技術廳機械試験所		9.30 東日本重工業K. K. 横濱造船所
	13.00 同上自動車部 (東村山)	XIV	13.00 東京急行横濱製作所

備考 (1) 見學工場への道順は當方よりの見學工場票で御承知下さい。

(2) 本票は一人一枚限り御使用下さい。

昭和26年4月1日 日本鐵鋼協會第36回通常總會出缺通知並に  
提議事項に對する意見

1. 出席・缺席 (不要の文字お消し下さい)
2. お願い (1) 上の切取線から切取つて委任狀に御記名捺印の上御返送下さい。  
(2) 投票用紙には御異議のある方の氏名に×印を附し御記入下さい而してその代りに御推薦になる方の氏名を下方へ併記して下さい。  
(3) 御投票 (御申越) がなければ全部原案に御賛成のことゝ拜承させていただきます。

収入印紙は  
當方にて貼  
付します

委任狀

拙者儀

ヲ代理人ト定メ左ノ權限ヲ委任ス

昭和廿六年四月一日午前十一時二十分社團法人日本鐵鋼協會第三十六回通常總會ニ出席シ決議權行使ニ係ハル一切ノ件

右委任狀仍テ如件

昭和廿六年三月 日

會員

投票用紙

- 一 原案ニ賛成
- 二 原案中左ノ通變更ヲ要ス